

議会だより

2023.2.25 No.205

も く じ

表紙	あおぞら保育園訪問
2P	令和4年第四回定例会 主な議決事項など
3P	一般質問
11P	質疑より
12P	移住者の声



うんどうかい（あおぞら保育園提供）

あおぞら保育園

八丈島には現在四つの保育園があります。中之郷地区にある「あおぞら保育園」は未満児の受け入れも行っており、一月現在、未満児十八名、園児三十二名の計五十名の子どもたちが通園しています。

園内をのぞくと、日差しがよく入り、木の温もりが感じられ、子どもたちのびのびと過ごしている様子でした。

取材時には郵便屋さんごっこが行われていました。ちゅーりっぷ組・すみれ組はお客さん役を担当、コインを持ち、受付でハガキを買っていました。年長組のさくら組は郵便屋さんを担当し、郵便局でハガキを売ったり、郵便靴を背負い、自転車で乗り、各組の教室に用意された郵便ポストに配達をしていました。お散歩の姿を見かけたときも、さくら組の子どもたちがちゅーりっぷ組の子どもたちと手をつなぎ、一緒に歩く姿を見ると、園の年長者としての成長や優しさ、リーダーシップを感じます。

（取材者 浅沼碧海）



令和3年度 一般会計決算

前年比 12.9%減の 88.9億円

第四回定例会 令和4年12月6、7日

12月の第4回定例会では、令和4年度一般会計・特別会計・企業会計補正予算、令和3年度一般会計・特別会計決算認定、条例制定・改正などが審議された。

令和3年度決算の特徴は、コロナ対策特別定額給付金関係や新クリーンセンター建設関係、基金積立金、新型コロナウイルス関連補助金などの減から、一般会計予算が前年比12.9%減少し、88.9億円となったことである。また、コロナによる事業中止の影響などもあり、不用額が前年比28.6%増加の1.6億円発生した。議員からは、街路灯LED化、公衆トイレ設置状況、物流センター老朽化などに関する質問・意見が出された。

令和4年度補正予算について、一般会計では新クリーンセンター建設工事請負費年割額一部先送りで7.2億円の減額、将来の施設建替

えに備える社会福祉推進基金積立金の1.2億円増額などが承認された。議員からは、住宅費含め入札



工事中の新クリーンセンター

不調が多いこと、パブリックロードレースの受け入れ体制、キャッシュバックキャンペーンのあり方などについて、質問・意見が出された。また、水道事業会計では、大川浄水場改修工事で事前地質調査が不十分であったことによる工事請負費増額について、病院事業会計では人員状況などについての質問・意見が出された。

条例制定では、令和5年4月1日施行の高校生の医療費助成などが決まった。条例改正では、地方公務員法改正に伴う職員の定年などに関するものなどが決まった。

定例会後の全員協議会では、住民課より新クリーンセンター進捗状況について若干の遅れもおおむね計画どおりとの報告がなされた。また、企業課より経営改善のため水道料金及び浄化槽使用料改定案が報告され、企画財政課からは「東京宝島サステナブル・アイランド創造事業」における実施事項（令和4年度から6年度）が示された。

人口減少や厳しい財政状況と正面から向き合い、今後のまちづくりをどうしていくべきか、議員からも厳しい意見を住民に提示していくべきと考える。

（真田幸久）

主な議決事項

- 12月定例会 令和4年12月6、7日
- ◎令和4年度八丈町一般会計補正予算ほか補正予算7件
- ◎八丈町個人情報保護法施行条例ほか条例10件
- ◎東京都と八丈町との間における旅券の申請受理及び交付等に係る事務委託に関する規約の一部を変更する規約
- ◎損害賠償の額の決定について
- ◎八丈町コミュニティセンターA棟外壁・防水改修工事請負契約の変更ほか契約2件
- ◎令和3年度八丈町一般会計決算認定について ほか決算認定3件
- ◎八丈町議会の個人情報保護に関する条例
- ◎議員の派遣承認について（フリージアまつり表敬訪問）

主な会議

- 議会運営委員会 令和4年11月29日
- ◎令和4年度第四回八丈町議会定例会について
- 全員協議会 令和4年12月7日
- ◎新クリーンセンターの進捗状況
- ◎水道料金及び浄化槽使用料の改定について
- ◎東京宝島サステナブル・アイランド創造事業について

一般質問

12月6日 質問者8人

各質問者の録画映像はインターネットでご覧いただけます。掲載文中、表現が硬くなっている部分ありますがご了承ください。



かながわ たかゆき
金川 孝 幸 議員

八丈町の防災対策について

今年には心配するような台風の接近はなかったが、八丈島で甚大な被害のあった昭和50年の台風を経験しており、災害が起きているから後悔や反省する前に十分な備えが必要だと思いつ。

また、北朝鮮からのミサイル発射に伴うJアラートが発令され、町はどのように対応したのか質問する。

問 今年の防災訓練は中止になり役場内の訓練に変更した理由を知りたい。訓練はトレーニングでありイベントとは違うので町民の命を守る実践的な訓練を行うべきでは。

答 総務課長 新型コロナウイルス感染拡大に不安の声があり、住民参加の訓練を止め、町職員と関係機関による初動体制などの訓練を行った。

問 今までの防災訓練はどのような災害を想定し、どのような訓練を行ったのか。各地域持ち回りの訓練では5年に1度しか訓練の機会はないので、より多くの町民が参加できる訓練に改めないか。

答 今までに地震、津波、土砂災害、噴火を想定した訓練を

実施してきた。災害に合わせて避難所へ避難する訓練を実施してきた。今後東京都や自衛隊とも協力し長期の避難を想定した訓練を検討したい。

問 避難所へ収容可能な人数とプライバシー保護のテントの数は。

答 島内23か所の指定避難所の収容可能人数は約7300人、屋内テントは144張準備している。

問 防災無線で避難指示や命令を出した際に自力で避難できない



大賀郷公民館に張られた屋内テント

い方への支援体制は。東日本大震災では逃げ遅れた高齢者などを避難させるために多くの消防団員などが犠牲になっているので、町の職員や消防団員の犠牲を減らすために町民が助け合う訓練は必要だと思いつ。

答 高齢者の安否確認や、関係機関と連携した避難支援を行っているが、自助や共助も必要であり、今後は助け合って避難する訓練も取り入れて行く。

問 Jアラートが流れた後の解除の放送は無かったが町の対応は。通学時間帯であったが教育委員会の対応は。

答 Jアラートの解除は町独自で行えるものではなく、時間が経過してから東京消防庁より情報が入った。町では八丈支庁を通してJアラートによる情報提供を要望し、都から国にも改善を要望した。

答 教育課長 通学し校庭で遊んでいた児童は校舎内に避難させた。今回のミサイル発射は想定外であったので対応マニュアルを見直す。



あさぬま たかあき
浅沼隆章 議員

太陽フレアが引き起こす 宇宙天気現象への対策は

☑ 太陽は活動の周期があり、3年後の2025年ごろに活発になり、「太陽フレア」と呼ばれる太陽表面の巨大な爆発現象が増えるの見込まれている。この太陽フレアが発生すると、電磁波やプラズマの噴出が起こり、地球に住む私たちの生活に大きな影響があると報告されている。

八丈町として、停電・通信障害・人工衛星による被害が想定された場合、想定されている2週間、電力の長期的な損失と、インフラへの影響や、GPSを利用している、船舶・航空無線の通信障害により、交通・物流

の停滞が大規模に発生する可能性があるが、その場合の対応を今後考えていく方針はあるのか回答を。

☑ 総務課長 参考として東京都に聞き取りをしたところ都としては、光ケーブル回線には影響がなく、通信障害は生じないため、対策はとっていないとのこと。現在ライフラインや通信事業者へも対策について問い合わせをしており、まずは情報収集をしていく。

防災対策として島内食料 自給率を上げる取り組み の推進を

☑ 自然災害の被害は数・被害ともに増加しており、私たちが住む八丈町でも台風などの影響により、交通・物流が停滞することがしばしば見受けられる。

八丈島も含めた関東全域が被害領域になるような災害が発生した場合、八丈島内のみで、食料や水、エネルギーを長期にわたり自給自足していかなければならない事態になることも考え

られる。そのような想定外の事態が起きた際にも対応できるようにする施策を町は考え、取り組んでいくべきではないかと考えている。その施策のひとつとして島内での食料自給率を上げる取り組みを町は推進していく考えがあるのか質問させていただく。

☑ 総務課長 国は災害対策の備蓄に関して、ライフラインが止まった場合に備えて日常備蓄として1人当たり3日分、大規

模災害時には1週間分の備蓄が望ましいとしている。

防災対策としての島内食料自給率の推進については、現在食料価格も高騰しており、国産農産品を増やし、国内食料自給率を上げる取り組みが進められている中で、災害への備えのひとつになると考えている。現時点で取り組みの計画などはないが、防災会議や関係機関などからも対策についての意見を伺っていく。



八丈支庁の防災備蓄倉庫
ライスクッキー、ビスコなどを備蓄



八丈町の防災備蓄倉庫
東京都からの物資のほか、アルファ化米、うどん、ようかん、液体ミルク、保存水などを独自に備蓄

一般質問



おくやま さちこ 議員
奥山幸子議員

給食センターの労働環境と施設の改善を

町の給食センターも、29年を経過し故障や修理が必要な部分も出てきていて、毎年のように機器の入れ替えや修理を繰り返している。今年の夏は例年になく暑かったように思う。施設の中には40℃、湿度は100%になる。しかも熱源をたくさん使う作業。熱中症になってもおかしくない状況が常態化している。学校給食は児童、生徒の食育に欠かせない重要な役割を担っている。その質の維持と安定をはかるために、以下の質問をする。

問 冷房機器を設置する計画か。

答 教育課長 冷房機器の導入

は令和6年度設置を計画していたが、建物の構造上予想外に大規模な工事になる。その際、長期にわたり給食提供を停止する必要があり、冷房機器の設置は困難な状況にある。

問 作業人員の確保への対策は。また、民間業者との契約のいきさつを伺う。

答 必要な人員の確保については、委託業者が決めている。

問 冷房機器の設置は喫緊の課題。ぜひ来年度の夏までに実現させるべき。民間業者との契約は、本来は入札で行うべきもの。ただ、給食の質を保つには慣れた業者が継続して担うのが得策で、今後も連携を密にして随意契約を維持すべきと考え



る。
問 給食を停止しないで環境を改善するために、善後策を検討したい。契約は毎年度評価し、継続を判断する。

島しょ地域農業DX推進事業で町は何を目指すか

令和4年度の東京都の事業説明で、島しょ地域農業DX推進事業の提案があった。実施内容は、スマート畜産業の検討調査で、予算は1000万円。事業は3か年となっている。八丈島の場合は、観光業とも関連している。この事業をきっかけに畜産業の改善に力を入れてほしいと考え、質問する。

問 町は何を目指してどのような事業を行うのか。

答 産業観光課長 目指すは、牧場の牧区の整理を行い、放牧牛を2倍の100頭に増やすこと。スマート畜産の技術を取り入れ効率的な牧場運営を目指す。

問 令和4年度はすでに半年以



上経過しているが、事業は進んでいるか。

答 今年度については、島しょ全体の畜産業を対象としてスマート畜産業の検討調査を実施している。

問 そのための、具体的な事業内容を明らかにしてほしい。牧場についての、長年の課題は電力と水の供給がないこと。都の補助事業をきっかけにこのことを解決する事業を考えてほしい。

答 都の調査結果が出てから事業内容を決めたい。ただ、実施するには期間が短くなってしまうので、事業延長の要望を議員皆さんとともにやりたい。



さなだ ゆきひさ 議員
真田 幸久

行政評価について

○令和4年第一回定例会で、「行政評価シート」作成についての質問があり、執行部より、先行事例を踏まえて検討すると回答があったが、その進捗についての報告を求める。

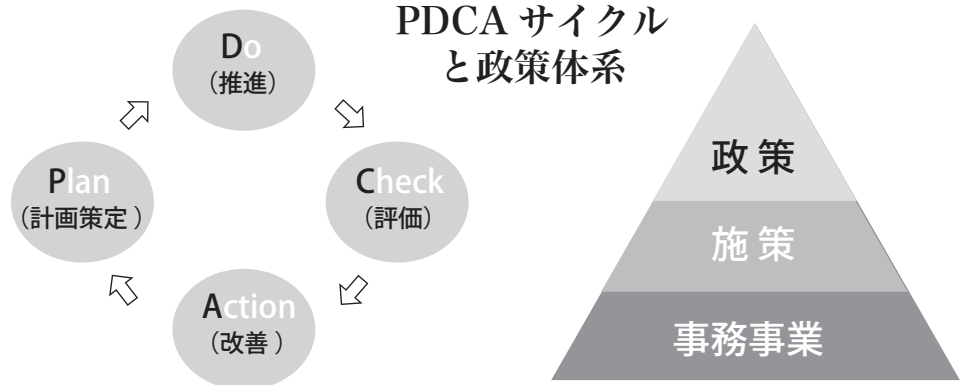
○企画財政課長 行政評価シートの作成には外部評価と内部評価があり、外部評価については予算措置が必要なこと、事務局における連絡調整や事務負担が増えることもあり、八丈町で行うのは困難であると考えている。内部評価についても、職員の状態や業務量を考えると今すぐ行うのは難しい状況であり、検討は一旦見合わせている。

○外部評価を行うことが難しいことは認識しているが、行政評価シートを機械的に作成するのではなく、日常的な業務見直しなどは行われているはずであり、問題点や対応策は出せるのではないかと。○その線に沿って内部で検討を進めていきたい。

○P（計画策定）D（推進）C（評価）A（改善）サイクルを通じて、総合戦略の継続的な推進・改善を図るとあるが、見直しにあたるC（評価）とA（改善）に関する執行部の対応について回答を求める。

○総合戦略のPDCAサイクルについては、現状では作成し直す時（5年毎）にしか行っていない。ただし、補助事業については毎年管理職で構成する補助事業審査委員会で時間をかけて事業の効果や妥当性などの検証を行ない、次年度予算に反映させている。監査委員による定期監査や決算審査も実施し、評価や審査が行われている。

PDCAサイクルと政策体系



○監査委員による監査は事務事業の効率性などをみているのであり、政策・施策との関連の中で、事務事業そのものの必要性などを議会や住民と考えている。

くことが必要である。総合開発審議会の開催頻度を高めることや住民集会の開催などをすべきでは。○政策・施策との関連性という点については、年度別事業計画で事務事業がどの施策に合致しているのかを各部門にヒアリングし、計画・予算を作成している。

○執行部内では対応しているとのことだが、内容を公表しなければ議会も住民もわからない。積極的な開示を求める。また、町長の活動報告の中で、いくつか視察があるが、その視察の意義の報告をみたことがない。こちらも積極的な開示を求める。

○町長 政策や施策の考え方など、公表できる内容について検討していきたい。議会などから施策などで大きな問題提起などあれば、提案してもらいたい。視察内容などについても広報などでの公表を含め、検討したい。

一般質問



いわさき ゆみ
岩崎由美 議員

都のパートナーシップ制度開始について、八丈島の対応は

今年11月に都が「東京都パートナーシップ宣誓制度」を開始した。

問 都はオンライン申請であるが、役場窓口での申請も可能か。

答 総務課長 原則オンラインでの申請になる。手続きが難しい方は都庁へ来訪し対面での手続きも可能。町役場、支庁では行っていない。

問 制度を開始するにあたり町の条例等の改正は必要か。またその他、住民サービスの内容について変更はあるか。

答 町営住宅など条例改正が必要

要となるものもある。住民サービスの内容の変更については、今後各課からの情報をもとに庁内で検討していく。

問 いつ頃までに整備していくのか。

答 必ずしも宣誓をしなくても、自治体によっては使えるサービスが存在している。いつごろまでには言えない部分もあるが、条例改正などできるものに関しては早めに対応していきたい。

問 対応が整備され次第、周知していただきたいかがか。

答 ホームページ、広報などで周知をしていきたい。

町職員の働きやすい環境をどのように整備しているか。

これまでも町職員の業務負担などについて質問を行ってきた。現在、職員の欠員状況および採用状況は。

答 総務課課長補佐 補充すべ

き事務職員の欠員は5名ほどとなっている。行政実務研修員として企業から2名採用するなど新たな試みを行っている。

問 建物などの新設や補修事業を実施する際、職員はどのような業務を担当するか。

政の職員には高い負荷がかかる業務である。

問 他自治体では宮繕課などを設けている。各課の職員の負担を減らすためにもそれにあたるセクションを作ってはいかか。

答 理想的だが、採用が非常に難しい。検討していきたい。

問 働きやすい職場環境にするためにどのような努力をしているか。

答 負荷を軽減するため引き続き採用を行っていく。負荷がかかり長時間の勤務が続く職員には産業医の面接を行っている。

問 チームで業務にあたる、外部のアドバイザーを入れる、建設業務では記録を残していくことなどが重要では。

答 そういう方法も考えていきたい。記録については現在デジタル化され改善されている。

問 どうしたら採用され定着していくか。

答 大きな案件で、簡単に結論が出ない。人口増にもつながることなので、しっかり考えていきたい。



コミュニティセンターA棟防水改修工事（令和4年12月撮影）

一般質問



議員 山下 則子 やましたのりこ

マイナンバーカードをもっと取得しやすく

○マイナンバーカードは2年後には健康保険証に代わるこのメディアでの報道もあり、取得したい方が増加している。しかし、高齢者の中にはカードを取得したいという希望がありながら、紙からの申請では写真を撮るなどの準備、携帯電話ではやり方が分からないなどの問題点がある。

そこで町民サービスとして、庁舎や各出張所に運転免許更新のようにワンストップで高齢者でも安心して申請できるように場を設けてはどうか。

そして、60%、70%の町民が取得するにはどうしたらよいか

前向きなアクションを起して欲しいが、町の考えを伺う。

○住民課長 本庁及び出張所において、写真画像を含めた申請のワンストップ化は、会計年度職員が主である出張所を含め、現配置人員を鑑みると、実施する体制を整えることは困難である。

しかし、東京都総務局職員の協力を得て、今月下旬に役場庁舎で写真画像のお手伝いを含めた申請の促進事業を実施する予定である。

また、9月議会で申し上げたようにマイナンバーカードにマイポイントを紐付ける機器を設置したほか、島嶼部で唯一、後期高齢者医療広域連合と共催で来年の1月19日から紐付ける事業を実施する計画である。今後窓口での丁寧な対応およびサービス向上を図っていく。



何度でも乗り降りできて、使うほどお得。
スマホで使えるバス2日間フリーパス登場!

乗り合いバスでの交通系ICカード利用を可能に

○上京したおり、電車の改札口やバスの乗降口などを見てみると、ほとんどの人が交通系ICカードを利用している。

島内でも観光客がバス停で待っている姿を見かけることが多くなった。

町もスマートアイランドを目指すのであれば、まずは乗り合いバスで交通系ICカードを利用できるようにするべきではないか。町の考えを伺う。

○企業課長 都内ではほとんどの人が交通系ICカード等を利用していると、私も認識している。

令和3年度の乗合輸送実績は7万9962人、1日平均219人で、温泉、病院への利用が多い状況となっており、シーズンによっては観光客の利用も多い。

しかしながら、温泉や病院への利用者はシルバーパスの利用が多く、また観光客にはモバイルバスの利用を勧めており、ICカード導入による新たな利用者を見込むことも難しい。

利用客が少ないこと、また、料金体系と費用対効果の面をみても、町営バス事業では、交通系ICカードの導入について、難しいと考える。



あさぬま あおみ
浅沼 碧海 議員

八丈町ハラスメント事案 に関する第三者委員会の 設置について

〇 役場職員内でのパワーハラスメントの相談を2件受けた。また近年の離職率や悲しい出来事を含め本腰を入れた対応の必要性があると考えている。八丈町役場に「ハラスメント事案に関する第三者委員会」を設置し、空気の良い職場環境・町づくりを行なっていただきたい。今現在の状況において素直な気持ちで問う。

〇 総務課課長補佐 八丈町としても重要な課題として認識している。対応としては、今現在係長等はハラスメントをテーマとした研修を行い職場作りを取

り組んでいる。将来的には相談しやすい環境作りと相談窓口を明確にしていきたい。第三者的組織の知見も活用できるような検討したい。

〇 職員の離職や休職の理由や、ハラスメントの事案などを町長は把握しているか。

〇 町長 退職者に関しては退職前に必ず顔を合わせ話をしている。内部事情については個人の受けとめ方もありむずかしい。職場の環境に慣れない中で仕事に従事している職員たちには、副町長を中心にそういうことがないように注意して努めていく。

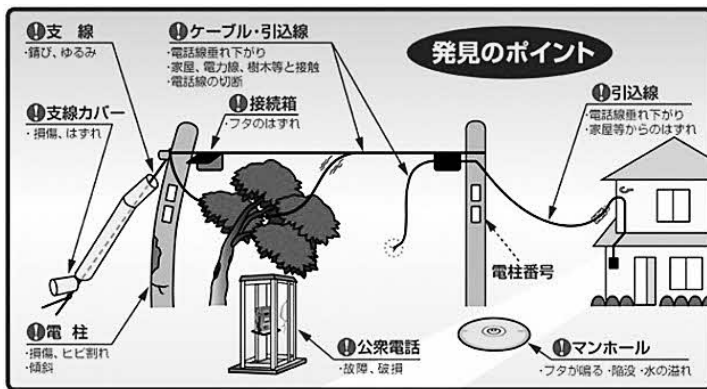
〇 役場内に移住者も多い。中立的な島外の方の第三者委員会を設置しての問題解決が望ましいと考えるが、役場として今一度見解や今後の具体的対応などを問う。

〇 総務課課長補佐 島外の第三者委員会の存在として、八丈町も共同設置団体として加入している「東京都市町村公平委員会」というものがあり、苦情相

談の制度がある。職員への周知ももしっかりしていく。

NTT東日本八丈島ビルの 電話直接対応について

〇 台風などの被害により電話の不具合があった場合の担当窓口が島外となっている。住民も不安である。災害時だけでも担



設備不安全状況の発見のポイント
NTT東日本ホームページより

故障時連絡先 WEB113 : <https://web113.ntt-east.co.jp>
ひかり電話・携帯電話・PHSからは：0120-444-113

当窓口を八丈島に設けることはできないか。

〇 総務課長 NTT東日本に連絡し確認したところ、病院・警察・消防などの重要施設に関しては直接の対応を行なっている。一般窓口に関しては、回線が混み合い輻輳してしまうと重要施設との連絡に支障が出る可能性がある。従来どおりとする。被害による補修などに対しては応援職員を増員し対応にあたっているとの回答だった。

〇 台風だけに留まらず、災害時などに被害があった場合、どこに連絡を取ればよいのか分からない。冷蔵庫に一枚貼れる用紙やPDFデータなどでもいいので検索で探せる緊急連絡先一覧の作成を望む。

〇 町長 自分自身にも経験があり住民にも不便をかけている。災害時などだけでも対応できるような体制をとっていただけると望んでいる。



やまもと ただし
山本 忠志 議員

八丈町の出産・子育て応援の計画を問う

○ つい先日、12月2日に可決・成立した政府の総合経済対策の中に、妊娠から出産、さら



一歳児一人目に配られるTシャツ・サコッシュ・スタイ・カタログギフトの1例

に、0歳から2歳までの成長過程にに応じて「一緒に走りながら相談に乗っていく」という伴走型相談支援が盛り込まれた。また、妊娠時と出産時にそれぞれ5万円、計10万円相当の経済的支援も実施されることになった。この事業の実施主体は市区町村となっているが、八丈町の具体的な実施計画について伺う。

○ 福祉健康課長 八丈町ではすでに、妊娠時から出産後まで安心して子育てできるように、町の保健師や職員が継続して支

援する体制をとっている。また、経済的支援としては、現在、東京都の事業を活用している。まず「ママ・パパ応援事業」では、出産後と一歳児の歯科検診時の計2回、育児用品をお配りしている。さらに、新生児訪問の際に10万円分のカタログギフトもお渡ししている。今回の総合経済対策でさらに手厚い支援ができると考えているが、事業の詳細がわかり次第検討する。

食の多様化に対応できる「給食センター」の設置を

○ 令和4年度の八丈町給食センター改修費は、釜やポイラーなど、約1000万円と伺った。さらに、令和5年度は空調設備設計と回転釜の改修が予定されているとのことだが、このような対症療法的な改修工事を繰り返すよりも、食の多様化に対応できる新しい給食センターの建設を検討してはいかがか。

○ 教育課長 現在の給食センターは、供用開始より約29年が経過しており、経年劣化による設備機器の故障が頻発するようになった。大規模改修、特に躯体の改修や空調設備工事の際には給食の提供を停止しなければならず、また給食センターの規模の適正化を考えると、長寿命化を図るよりも現在の施設が稼働中に建替えが必要と判断する。建替えにあたっては、資金の見通しや用地の選定も必要だが、その方向で進めていく。



ポイラー工事修繕対象 膨張タンク

質疑より

●介護職の人手不足について



沖山昇 議員 養和会も社会福祉協議会も民間事業者も介護職が不足していると聞く。町

に何か考えはあるか。福祉健康課長 介護職の人材不足は全国的な問題だ。町だけではなく、島内事業所と連携をして、移住定住のイベントへ出向き、島外からの人材の確保に努めている。技能実習生の制度なども注視していきたい。

●大賀郷園地のトイレの洋式化



浅沼 憲春 副議長 大賀郷園地の管理は支庁が行うものだが、大賀郷の高齢者がたびたび利

用している。和式だとしゃがむのが困難とのことで、洋式に変えるよう支庁に要望してほしい。

総務課長 町と支庁と情報交換する

機会がある。都の施設について議会から要望があったことは伝える。

●大川浄水場に関する設計ミスについて

浅沼 隆章 議員 国庫補助金、都補助金あわせて6千万円も増額になっている。すべて大川浄水場の改修工事のものか。設計ミスがあったことによる追加の費用と思うが、どのような業者が入って入札を行ったのか、流れを明らかにしてほしい。

企業課長 予算はすべて大川浄水場のもの。補助金増は、建築部分が大きいが、入札が2回不調になり工事が遅れた。3回目の入札で業者がき

まり工事の遅れを取り戻すために現場を管理している。

浅沼 隆章 議員 今回の追加工事が行われる前に、くい打ちをする際、支持層に当たらなかったことが問題で、設計前に支持層を調査した人や会社があったはずで、その経緯を聞きたい。

企業課長 設計の前に地質調査が行われ、その結果などをもとに設計をし、工事の入札になる。

浅沼 隆章 議員 今後、このようなことがないように、調査を念入りにしてほしい。また、責任の有無を明記しての契約にするべきだと思つ。企業課長 今回の件は今後の教訓にしたいと考えている。

Q.議会であった東京都の「宝島事業」、「宝物推進事業」の違いは？

東京宝島事業（東京都行政部所管）

東京の島々には、素晴らしい自然景観や海洋資源、特産品、歴史・文化などの「宝物」がたくさんある。また、これらにはさらなる活用や魅力拡大の可能性が秘められている。東京宝島事業は、こうした「宝島」や隠れた魅力を掘り起こし、一層磨きをかけ、広く発信していくことで、島のブランド化に向けて取り組む事業。東京観光財団が東京の離島11島全島について行う。

八丈町では観葉植物の鉢カバー、全東京の島を対象にした、TOKYO宝島図鑑（パンフレット）、エコバックの配布を東京観光財団の実施事業で行っている。

東京宝物推進事業（東京都観光部所管）

島しょ地域に存在する「宝物」と呼ばれるべき観光資源のブランディングに関する観光施設整備などに要する費用の一部を補助することにより、島しょ地域の魅力を高め、観光客の誘致および満足度向上につなげることを目的とする。各自自治体が都からの補助金で行う。

八丈町ではパンフレットの作成、観光案内版（円すい形）を設置

真田 幸久 議員 当初総工費が8億7千万程度、今回増えた部分は最終的に総工費に上乘せされるのか、ある程度このようなのが工事過程の中で想定されているのか。そうでないならば上乘せがどれくらいになるのか。

企業課長 事業費に関しては今回のような追加になった部分については想定していない。今回追加になる分に関しては9月補正で事業費に組み込ませていただいているが、この追加分に関しては最終的に合計額に入ってくる。

●物価対策キャッシュレスキャンペーンについて

岩崎 由美 議員 最大2万円使えば6千円バックされるといふキャンペーンで、12月31日までの期限が決められていた。しかし、実際には11日間で終わってしまった。あまりにも短期間に終わってみんなに行き渡らなかつた。不公平感はぬぐえない。次回があるとしたら、慎重に考えてほしい。6千円バックというのは、どのように決めたのか。産業観光課長 今年度は物価上昇に對する対策として、キャッシュレスを活用した。年内に消費できるようにと限度額を2万円の6千円に決めて実施した。

発行人 八丈町議会議長 山本忠志
 編集 議会だより編集委員会
 委員長 奥山幸子 副委員長 山下則子
 委員 真田幸久 浅沼碧海
 〒100-1498
 東京都八丈島八丈町大賀郷 2551-2
 tel 04996-2-2788 fax 04996-2-4437
 メール gikai@town.hachijo.tokyo.jp

新しい委員によるはじめての議会だよりです。表紙は、島の子どもたちに焦点をあてることにしました。保育園、小学校、中学校、高校を順次取り上げていきます。この1年は4つの保育園の園児たちが表紙を飾ります。また、裏表紙には、島に移住してこられた方々の声や暮らしぶりをお届けしたいと思っています。

12月議会では補正予算や決算に関する審査を行いました。増額、減額、入札不調などありましたが、住民にとって特に重要な事案については、今後も注目していきたいと思えます。(奥山幸子)

おおがねきょうへい

大金 恭平さん・あやさん Bulblue cafe stand オーナー

八丈島の商店や金融機関の駐車場で見かける水色の車体、おばさんでも大丈夫かなと思いつつ近寄ってみる。「いらっしやいませ」とニコニコしながらあやさんに言われると、心のガードがほどけますね。夫婦で空き家バンクを検索していても、良い物件が見当たらず、八丈島で空き家をリノベしている人のサイトが見つかり、小さい頃に八丈に遊びに来たことがあるご主人と、八丈に旅行で来たことがあるあやさんが、八丈へ行こう！と決めたそう。



「2020年8月、キャンピングカーと共に親子3人で八丈島へ移住。小規模事業者持続化補助金でキャンピングカーを改造し、移動のBulblue cafe stand（ブルブルーカフェスタンド）を始めました。

八丈のいいところは、人との距離が心地よく子育てしやすいところですが、特に雨の日などに室内で大人も子供も遊べる場所、そして仕事や遊びを通じてコミュニティを築ける共創スペースなどの場所もあったらいいなと思います。」

移住してよかったと言っていたが、取材した私もホッとしました。(山下則子)

移住者の声
 来てみりゃ
 八丈は…

かたやま かん

片山 堪さん (47歳)

2年前から担い手育成センターで研修中の第6期生です。



きっかけ これまでのお仕事を伺うと、なんとジュエリーデザイナーを経験し、フラワーアレンジメント（以下アレンジ）の先生をしていただいたとか。アレンジの生徒さんがモンスターを使いたいと言ったことから、その葉に興味を持ちネット検索していたら八丈島が出てきて、担い手募集にたどり着いたそうです。

取材にいくと仕事場に花が活けてありました。ここで5期生の吉田さん、6期生の今井さんご夫妻がフルーツレモンの収穫作業をしてられました。

今の生活 島に住む農業者から指導を仰ぎながら、ルスカスとレザーファン、フルーツレモンの栽培を行っています。収入は国の補助金のほか、収穫物を農協を通して出荷して得ています。繁忙期の今は明け方から夜まで出荷作業で大変ですが、生活するのに十分なだけの収入は確保できているとのことでした。農業者として自立をめざす意欲的な姿を拝見しました。(奥山幸子)

